

今を未来に

明日は通学路一斉点検日です。(地震が起きた時、倒壊の恐れがあるブロック塀などがないか)

明日の全校下校の機会に、通学路一斉点検を行ないます。地区懇談会でお願いをした点検内容は以下の通りです。

☆ブロック塀を中心に、通学路に倒壊の恐れがある建物、自販機などが設置されていないか。

【点検の参考例】 _____ は、地区懇談会までに確認できていなかった点になります。

- ・ブロック塀は高さ2.2mまで、石塀の高さは1.2mまでになっているか。
ブロック1丁分の高さはつなぎ目をいれるとおよそ20cmです。11丁以上積まれていたら高さ制限を超えることとなります。
また、石垣の上にブロック塀が積まれている時は、その合計をした高さがブロック塀のみの2.2mを超えていたら報告してください。
- ・ブロック塀は3.4m以下の間隔で控え壁が入っているか。
ブロック1丁分の横の長さはつなぎ目を入れるとおよそ40cmです。8丁と半分の長さが、およそ3.4mになります。それ以上の長さがあるブロック塀には控え壁が必要ということになっています。
- ・ブロック塀にひび割れがないか。
- ・自販機等は基礎が固定され、倒壊を防ぐ対策がなされているか。
- ・道幅が狭い道で、家が境界線ぎりぎりに建てられていると、屋根瓦が落ちてくる恐れがあります。通学路に屋根瓦が落ちてくる危険性がある家はありませんか。
- ・その他、倒壊の恐れがあると思われる物(学校によっては電柱や看板などを点検箇所に入れられているところもあります。)

学校から集合場所までは地区担当の教員が点検をします。登校時と下校時の道が違う地区は、子どもたちを送って行く時は下校路、学校へ戻ってくるときに登校路の点検を行ないます。申し訳ありませんが、ご自宅から集合場所までの点検は各家庭の責任で行ってください。また、集合場所まで行く道と下校する時の道が違う場合は、その両方を家庭の責任において点検をしてください。7月13日までに報告をお願いします。なお、複数箇所あった場合は、先日お渡しをした用紙にいっしょに記入してください。ただ、一枚の地図に示すことができない場合は、12日の日に必要な枚数の報告書をお子様を通じてお渡ししますので、申し出てください。その場合も、報告の締め切りは13日とさせていただきます。

なお、近日中に防犯点検(通学路になっているところで、人目につかない場所を一人で帰るといような通学路がないか。)を行うような指示が文部科学省より出されるという情報もありますので、そのような場所がないかも職員は気にしながら、点検を行ないます。今のところ、朝明高校の西側の道と西村町の横手橋の北側については、対象箇所と報告をする予定になっています。気になる箇所がありましたら、点検に行く地区担当の職員にお伝えください。

【職員研修、すすめる。今回は2年生でした。】

前回の4年生に引き続き、今回は6月27日（水）2限目に2年A組で生活科「わたし大すき 友だち大すき このまち大すき」の提案授業が行われました。2年生の子どもたちは、全校の先生や知っている先生（人権プラザ小牧のお話を伺った伊藤真貴指導主事）が見に来てくれるということもあって、大変張り切っている様子がありました。



その上、授業の内容は、今まで行ってきた地区探検を元にして、保々のそれぞれの地区探検で友だちに教えてもらったり、地域の方に伺ったりした中から、心に残ったことを歌詞にして、「さんぽ」の替え歌にして、みんなに聞いてもらおうという、魅力的な内容であったことも、子どもたちの笑顔・意欲につながっていたようです。



歌詞の中には、「ホテルとカワニナ、正さんたちがまもってる」「田んぼのしごとをしている人がマムシにきをつけてねっておしえてくれた」「天春さん行えんじまもってる」「いとうまき先生いじめをなくそう」「ひぐちさん、さくまさん、こくぼさん子どもずもう」と、地区探検で出会った方の名前がどんどん入ってきていました。

人権学習（生活科）を進める時に、子どもたちの気づきがあること、楽しく人権について学びを続けていけることが大切だと、2年生の姿から確かめることができました。替え歌が完成することがとっても楽しみになりました。

【クラブ活動 7月9日】

一学期最後のクラブ活動が昨日行われました。今年度から始まったクラブは、はじめのうちはどんなことをするのかあと楽しみにしている子どもたちの様子や、ちょっと思っていた事と違うかなと戸惑いを見せている子もいました。しかし、今日はどのクラブ活動もとっても楽しそうな様子で、ねらいにあったように異学年同士の関わりが自然とできていて、クラブ改革をしてよかったなあと感じました。



写真は外遊びクラブと理科ネーチャークラブの様子です。外遊びクラブは1年でこの時期にしかできないプールでの外遊び（水遊び）、理科ネーチャークラブはプールから聞こえる歓声に気を取られることなく、プール横で「バブロケットをどれだけ高くとばせるかな？」の実験に取り組んでいました。

